

## 沿線地域社会の持続的発展に向けた取り組み

東武グループは、鉄道ネットワークを中心とした沿線地域が事業基盤であり、沿線地域社会の持続的発展を重要な課題ととらえています。本項では、それらの課題解決に寄与すべく取り組んできた各種事業の進捗状況を、該当するSDGs17の目標のアイコンとあわせてご紹介します。

## 1 TABETEレスキュー直売所

2021年8月より、埼玉県東松山市周辺の農産物直売所で売り切れなかった農産物等を東上線で池袋駅まで輸送し、池袋駅構内で販売しています。当社が有するサービスを活用し、フードロスの削減という社会課題の解決に貢献しました。また、大東文化大学の学生にも農産物の輸送・販売オペレーションに参加いただき、学習の機会として活用いただいています。産・学・官が連携し、フードロスの削減に取り組んでいます。



農産物の列車への積み込み



TABETEレスキュー直売所



## 2 東武アーバンパークラインにおける連続立体交差事業の推進

2008年より千葉県と施行協定を締結し工事を進めている「東武野田線(野田市)連続立体交差事業」において、2021年3月より清水公園～梅郷間の高架区間の使用、同区間内にある愛宕駅の新駅舎の使用を開始しました。これにより、11か所の踏切を廃止し、踏切事故を抜本的に解決するとともに、交通渋滞とエリア分断を解消し、地域の活性化、地域住民の利便性向上に寄与しました。引き続き2023年度の事業完成に向けて、千葉県と協力し事業を推進していきます。



高架化した愛宕駅付近の様子



愛宕駅付近の高架橋



### 3 東武動物公園駅西口商業施設の開業

東武動物公園駅西口に、地域の方々と来街者が交流する「お買い物とまちづくりの活動拠点」をコンセプトとした商業施設を、2021年9月にオープンしました。

地域の方々の日常生活を支えつつ、地域に開かれた交流広場「みんなの広場」の整備、飲食店営業等の高いへの挑戦を後押しするシェアキッチン設置、高齢化が進む地域のニーズを捉えた移動販売等、地域課題解決や地域活性化につながるサービスを提供します。

さらに、本施設で使用する電力量の約1/3を賅えるだけのソーラーパネルを屋根一面に設置することにより、当社として初めて建築物の省エネルギー性能を表示する第三者認証制度「BELS(Building-Housing Energy-efficiency Labeling System)」において最高評価を獲得しました。



「みんなの広場」



### 4 国内初の環境配慮型・観光 MaaS「NIKKO MaaS」の開始

東武鉄道、栃木県ほか4事業者で、2021年10月から栃木県日光地域において国内初の環境配慮型・観光 MaaS「NIKKO MaaS」のサービスを順次開始しました。

「NIKKO MaaS」は、日光地域の鉄道・バスをセットにしたお得なデジタル限定フリーパスのほか、EV・PHVカーシェアリングやシェアサイクル、EVバス(低公害バス)等の環境にやさしいモビリティや、歴史・文化施設等の拝観・入場チケット、ネイチャーアクティビティ等の観光コンテンツを「NIKKO MaaS WEBサイト」からワンストップで検索・購入・利用できるサービスです。

「NIKKO MaaS」では、デジタル限定フリーパスをご利用いただき、日光地区来訪時のマイカーから鉄道への転換をさらに促進して当地域の渋滞緩和を目指すとともに、最新EVカーの採用やRE100充電器の設置を促進し、脱炭素社会への先導モデルになることを目指しています。

#### NIKKO MaaSのサービス概要

鉄道・バスをセットにしたお得なデジタルフリーパスのほか、EV・PHVカーシェアリングやシェアサイクル、EVバス等の環境にやさしいモビリティと歴史・文化・観光施設等の拝観・入場チケット、アクティビティ等の体験プログラムをスマートフォンから簡単に検索、購入いただくことができるサービスです。

